高城中学校　校長室便り

自律　目標に向かって自分自身を律する
感謝　思いやりや感謝の気持ちをもつ
貢献　地域社会に貢献する態度を養う
創造　既成の知識から新たな発想を生み出す

啐啄同時

2023.3.24　第 45 号

令和４年度　修了の日に寄せて

１６日に第７６回の卒業式が行われ、６８名の卒業生が無事に巣立っていきました。１・２年生の皆さんも本日でそれぞれの学年での行いに区切りをつけ、４月からは一つ上の学年へ進級します。

さて、この１年間の皆さんの歩みはいかがだったでしょうか。おそらく、それぞれの人が学習や行事、生徒会活動や部活動で自分でやるべきことを自覚して頑張り、成長したことと思います。

「自律」　…　小さな事でもいいので目標を立て、達成するために計画を立てて実行しましょう。
「感謝」　…　自分を支えてくれている方に、感謝の気持ちを表現しましょう。
「貢献」　…　社会の一員として、地域に貢献しましょう。
「創造」　…　持続可能な未来を創りましょう。

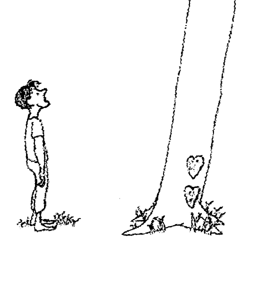
今年度は、「自律」「感謝」「貢献」「創造」の４つのキーワードを設定して学んできました。これは、社会に出る前にしっかり押さえておきたいことです。

４月からは新たに後輩も入学してきます。後輩から信頼される先輩になるためには、いろんな面で尊敬され好かれる先輩にならないといけません。これから先は、先輩という自覚をもって過ごしてほしいと思います。また、２年生は４月から最上級生になり学校の顔になります。同時に受験生として、自分の将来を決める大事な進路選択の学年になります。進学する学校などを絞り込むのに、残された日数が１０ヶ月足らずということを考えると、これからの一日一日の過ごし方が、いかに大事になるかは言うまでもありません。

先ほど代表の生徒に修了証書を手渡しましたが、評定や所見に自分を成長させるであろうアドバイスが記されています。この春休みは新年度のスタートがしっかり切れるように、これまでの振り返りと新たな目標設定をお願いします。

優しさだけでは幸せに育たない

2015.2.2 号　みやざき中央新聞社説



学生のとき、シェル・シルヴァスタインという作家の『おおきな木』という絵本にとても感動し、ずっと手放せないでいた。物語はとてもシンプルだった。

大きなりんごの木がある。そこに小さな坊やがやってきて、いつも遊んでいた。木登りをしたり、枝にぶらさがったり・・・。坊やはその木が大好きで、木も坊やが大好きだった。やがて坊やは大きくなり、木と遊ぶことはなくなった。ある日、突然彼はやってきた。木はとても喜んだ。青年になったかつての坊やは木に